



認知症をもつがん患者のケア、 意思決定支援

認知症のある患者さんは、自分の苦痛を医療者に伝えることが十分にできず、医療者もまた、患者さんの行動の意味をつかみかねて戸惑うことを多く経験されていることと思います。また、認知症のある高齢がん患者さんが入院し、治療を受ける中でせん妄を生じた場合の看護や家族ケア、在宅で暮らすための地域包括ケア、終末期せん妄を合併した場合のケアなど、臨床では多くの困難な場面を経験されていることと思います。

このセミナーでは、国立がん研究センター精神腫瘍科長(先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野長 兼任) 小川 朝生 先生をお招きして、認知症のアセスメントから、認知症ケアの展開、意思決定支援についてご講演いただく予定です。がん看護に携わられている皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2021年9月17日(金) 18:00～20:00

場所：兵庫県立大学 看護学研究科遠隔講義室(Zoom)

アクセス先のリンク(URL)とパスワードは、以下のサイトにてお申し込みをいただいた方にメールでご連絡いたします。

対象：がん看護に携わる看護師、専門・認定看護師、CNS コース大学院生、修了生、教員(先着80名)

講師：小川 朝生先生

国立がん研究センター精神腫瘍科長

(先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野長兼任)

無料

お申し込み先(事前申し込みとなります)

以下へアクセスの上、必要事項(氏名、所属、連絡先等)を、**2021年9月7日(火)**までにご登録ください。

<http://www.apnhyogo.net/seminar/>

登録完了次第、折り返しアクセス先など詳細をご連絡いたします。スマートフォンなどからお申し込みの場合、PCからのメール受信ができる設定にしておいてください。また定員に達し次第お申し込みを締め切らせていただくことがありますのでご了承ください。



主催

兵庫県立大学大学院看護学研究科

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン
(責任者：川崎 優子)

講師紹介

小川 朝生(おがわ あさお)先生

2004年大阪大学大学院医学系研究科を修了後、大阪大学医学部附属病院神経科精神科、国立病院機構大阪医療センター神経科を経て、現在、国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科長先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野長(兼任)で精神医学、精神腫瘍学を専門領域とし、主にせん妄、認知症、高齢がんに関する研究をされています。



<主な所属学会>

日本精神神経学会、日本総合病院精神医学会、日本サイコオンコロジー学会、日本緩和医療学会、日本生物学的精神医学会、日本臨床神経生理学学会、日本精神病理学会、日本精神科救急医学会、日本神経学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本神経科学学会、日本認知症学会、日本がんサポーターブケア学会

<専門資格>

日本精神神経学会 精神科専門医制度指導医/日本精神神経学会 専門医/日本医師会 認定産業医
日本総合病院精神医学会 特定指導医

セミナー内容

認知症ケアのゴール設定からアセスメント、リスク評価、せん妄(術後せん妄、がん薬物療法に伴うせん妄、終末期せん妄など)を合併した場合の支援、家族ケア、在宅での資源の活用についてご講演いただき、小川先生が実臨床でご経験された事例をもとに、参加者同士でのグループワークを行う予定です。本セミナーを通して認知症をもつがん患者さんの安心できる環境整備や希望・意思を表出できるような支援について理解を深めるとともに、看護師の役割について検討し、明日からの臨床現場で役立つ看護を一緒に考えていきましょう。

連絡先:兵庫県立大学看護学部内 がんプロ事務局
兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号
TEL:078-925-0860 FAX:078-925-0858
E-mail:ganpro29-jim@cnas.u-hyogo.ac.jp



兵庫県立大学 大学院 看護学研究科

College of Nursing Art and Science, University of Hyogo

